



持続性消炎・鎮痛剤
劇指 **チルコチル**[®]錠10
錠20
Tilcotil[®] <テノキシカム製剤>

「使用上の注意」改訂のお知らせ

1993年3月

 日本ロシュ株式会社

 杏林製薬株式会社

謹啓

先生にはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご愛顧を賜わり厚く御礼申し上げます。

さて、このたび「使用上の注意」を裏面の通り改訂いたしましたので、
ご案内申し上げます。

敬 具

チルコチル「使用上の注意」改訂

1993年3月

[改訂内容] _____ が改訂された内容です。

現 行	改 訂 後
2. 次の患者には投与しないこと。 (7) アスピリン喘息又はその既往歴のある患者	2. 次の患者には投与しないこと。 (7) <u>アスピリン喘息（非ステロイド性消炎鎮痛剤等による喘息発作の誘発）</u> 又はその既往歴のある患者
4. 副作用 (1) 消化器：ときに消化性潰瘍が、またまれに胃腸出血があらわれることがあるので、このような場合には投与を中止すること。またときに胃痛、胃部不快感、口内炎、悪心、消化不良、下痢、腹痛、食欲不振、心窩部痛、嘔吐、便秘、黒色便、腹部不快感、舌炎等の症状があらわれることがある。	4. 副作用 (1) 消化器：まれに消化性潰瘍、胃腸出血があらわれることがあるので、このような場合には投与を中止すること。またときに胃痛、胃部不快感、口内炎、悪心、腹痛、食欲不振、また、まれに消化不良、下痢、心窩部痛、嘔吐、便秘、黒色便、腹部不快感、舌炎等の症状があらわれることがある。
(2) 過敏症：ときに発疹、痒痒感、湿疹、紅斑等の症状があらわれることがあるので、このような症状があらわれた場合には投与を中止すること。	(2) 過敏症：ときに発疹、痒痒感、また、まれに湿疹、紅斑等の症状があらわれることがあるので、このような症状があらわれた場合には投与を中止すること。
(3) 精神神経系：ときにめまい、頭痛、眠気、頭重感があらわれることがある。	(3) 精神神経系：まれにめまい、頭痛、眠気、頭重感があらわれることがある。
(4) 感覚器：ときに耳鳴、しびれ感等の症状があらわれることがある。	(4) 感覚器：まれに耳鳴、しびれ感等の症状があらわれることがある。
(5) 循環器：ときに心悸亢進等の症状があらわれることがある。	(5) 循環器：まれに心悸亢進等の症状があらわれることがある。
(6) 肝臓：ときにGOT、GPT、Al-Pの上昇があらわれることがある。	(6) 肝臓：ときにGPTの上昇、また、まれにGOT、Al-Pの上昇があらわれることがある。
(7) 腎臓：ときにBUNの上昇等があらわれることがある。	(7) 腎臓：まれにBUNの上昇等があらわれることがある。
(8) 血液：ときにヘモグロビン減少、白血球減少、赤血球減少、血小板減少等があらわれることがある。	(8) 血液：まれにヘモグロビン減少、白血球減少、赤血球減少、血小板減少等があらわれることがある。
項目なし	5. <u>高齢者への投与</u> 高齢者には慎重に投与すること（「一般的注意」の項参照）。

[改訂理由]

2. (7)

厚生省薬務局安全課事務連絡(平成4年3月12日付)に基づく改訂
(非ステロイド性消炎鎮痛剤の使用上の注意の整備)

4. 副作用 (1)～(8)

使用成績調査(第5次)結果に基づく自主改訂

5.

全医療用医薬品に対する行政指導(高齢者に対する使用上の注意の整備)に基づく改訂

日本ロシュ株式会社

杏林製薬株式会社